



2008~2009年度
国際ロータリーのテーマ
夢をかたちに
2008~2009年度
会長 李東建

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：松井 善則
幹事：田口 豊
クラブ広報委員長：平野 好道
例会日：毎週木曜日 PM12:30~
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL：<http://www.mizuho-rc.jp/>

第1406回例会

2009年3月26日(木) 晴 第36回

司会：梅村昌孝会場委員
斎唱：「日も風も星も」
ビジター：大阪東RC：守谷承弘さん

会長挨拶

松井善則会長

亭主関白について

最近「亭主関白」という言葉の意味が、我々の年代の考え方と大きく変わっています。家庭内で「亭主」とは主人のことです。しかし「関白」は天皇である妻を補佐する地位であるようです。従って妻は朝廷の如き身分なのです。帰宅したら、関白はいかにうまく朝廷の妻の尻に敷かれるかということを常に考えなければなりません。我々の年代は「風呂」「めし」「寝る」の3つの言葉で象徴されているのが典型的な古典型の亭主関白でした。しかし最近では、天皇である妻から三行半を叩きつけられる人が多いようです。団塊世代の男が定年を迎えたと同時にされる熟年離婚が社会問題化したのを契機に急増しているそうです。



現在では夫婦円満の極意に「愛の三原則」というのがあるそうです。それは「第1にありがとうをためらわずに言おう」「第2にごめんなさいを恐れずに言おう」「第3に愛しているを照れずに言おう」というものです。この三原則を守れば家内円満にいくようですが、これは我々の年代ではなかなか言葉に出せないことがあります。

もう1つの円満にいく極意。それは夫婦げんかの時、家内に絶対「勝たない」「勝てない」「勝ちたくない」の三点を守るというものです。最近の多くの天皇、すなわち妻は絶対謝らないものであり、反論をすれば昔のことを蒸し返されるので、ここでも亭主が上記三原則を守るのが鉄則です。我々の年代の亭主関白も、そろそろ断腸の思いで観念をする潮時なのでしょうか。ここで自分の意志を通すために頑張ってしまうと、何も出来ない亭主関白はみじめな1人の男になってしまうのでしょうか。お互いにこれから的人生を気を付けて過ごしましょう。

出席報告

関谷俊征出席委員

会員71名 出席48名 (出席計算人数53名)

出席率77.4%

3月 19日 は補填により 93.3%

幹事報告

田口 豊幹事

- ・本日13時35分より4階「桜園の間」で第15回分区大会打合せを開催致します。
- ・次週4月2日(木)13時35分より9階「ことぶきの間」にて第6回クラブアッセンブリー及び第10回理事会を開催致します。
- ・5月14日(木)13時30分より地区ロータリー研究会が開催されます。登録料は2,000円で終了時間は16時30分の予定です。会場は未定です。ご興味があり、参加してみたいと思われる会員様がいらっしゃいましたら3月末日までに事務局へお申し出ください。

臨時例会変更のお知らせ

名古屋西	4/2(木)※			
名古屋南	4/1(水)			
名古屋東		4/6(月)	4/13(月)	
名古屋守山		4/8(水)		
名古屋東南		4/8(水)		
名古屋名東	3/31(火)※	4/7(火)		
名古屋千種	3/31(火)※	4/7(火)		
名古屋栄	3/30(月)◆			
名古屋名南		4/7(火)◇		
名古屋名駅				4/22(水)
名古屋昭和		4/6(月)		
名古屋丸の内				4/23(木)
名古屋錦			4/14(火)	
名古屋東山	4/2(木)※	4/9(木)		
名古屋葵	4/2(木)※			
あま	3/30(月)			4/20(月)
名古屋空港			4/13(月)	
名古屋清須	3/31(火)※			
尾張中央			4/15(水)	
名古屋城北	3/31(火)	4/7(火)		4/21(火)

(注)※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◆はサイン受付が17:00~18:00となります。

◇はサイン受付が17:30~18:30となります。

ニコボックス

関谷俊征ニコボックス委員

・グルメ会、女房と長男の嫁とお世話になります。

大島 浩嗣さん

・3月18日、三好CC東コースで行われたRCのゴルフコンペで優勝できました。並いる強豪を抑えて優勝できありがとうございました。

田中 英雄さん

・今後ともニコボックスを宜しくお願ひします。

ニコボックス委員会

・今月は妻の誕生日と結婚記念日でした。今晚、グルメ会の皆様よろしくお願ひします。

鈴木 淑久さん

・春になってきました。今月は結婚記念日月です。

内田 久利さん

・3月25日は当方の結婚記念日です。ちなみに3月25日は電気記念日(日本で初めて電灯がともった日)です。花粉症の季節です。よく効く漢方薬(1回で効きます)を知っています。ご入用の方は梅田まで。

梅田 朋嗣さん

・3月20日は女房の誕生日でした。女房も3度目の成人式を迎えました。

岩田 修司さん

・3月25日は妻の誕生日でした。

堀 慎治さん

バナー贈呈



本日のビジター、大阪東RCの守谷承弘さんにバナーが贈呈されました。

委員会報告

地区からのお知らせ:遠山堯郎さん

西名古屋分区に新しいRCができますのでご報告します。主体は米山獎学会で、特別代表は06~07年の斎藤バストガバナーです。ロータリーの名前は「中部名古屋みらいRC」に決まりました。なお、チャーターナイトは5月20日に予定されています。

卓話

高須洋志さん

製造業最前線



9億2000万、6900万、1146万。

何の数字かおわかりになるでしょうか。9億2000万は世界で保有されている車の総数、6900万は一年間に生産される車の総数、1146万は日本国内で生産される車の総数です。今日は私が所属する自動車部品業界の実態と、今後の展開について私なりにお話ししたいと思います。

まず具体的に自分の会社の状況を申し上げます。昨年の上半期4月から9月の生産量を100とすると、10月はホンダ系132、トヨタ系98、11月はホンダ系105、トヨタ系86、12月はホンダ系100、トヨタ系71、1月はホンダ系78、トヨタ系58、2月はホンダ系47、トヨタ系56、3月はホンダ系50、トヨタ系50という数値になっています。今年は年明けから3月までに4回ほど生産計画の下方修正がありました。

1900年初頭に起こったアメリカを引き金とした世界恐慌は、その後の経済に大混乱をもたらしました。その後色々な政策が実施されましたがそれはどれも表面的なもので、実際は第二次世界大戦による戦時需要によって経済が持ち直しました。特に本土に強い影響をうけなかったアメリカは、その時期に強大な経済大国となりました。今回の不況は当時の経済状況(恐慌)に多少似た経過をたどっていると言えます。ご存知の通り、経済には資本

主義と社会主義(計画経済)があります。計画経済には今回のような破綻は起こりにくいですが、今ひとつ成功していません。それに比べ資本主義は、うまく機能すれば競争心や欲望をあおり、それが強力なエンジンとなって発展していくことが可能です。しかし今回は、この自由主義経済を放任に近い形にしてしまったため、金融工学で生まれた新しい商品が世界の経済を引っかき回したという実態があると思います。

恐慌と呼ばれるような大幅な経済変動が起こる条件は、お金の配分のウエイトを資本・企業・株主に置くか労働者に置くかによって変わってきます。ここ7~8年は、労働者の所得が増えず「実感のない経済成長」と言わされてきました。逆に企業の持つ社内留保は2倍以上に増えました。それにより効率的に事業を行うための投資が行われ、製造業は生産余力を増しました。しかし所得が下がっているので労働者は商品を買うことができず、需給ギャップが発生し、デフレが引き起こされました。これが金銭のバランスを崩す原因となり、経済的な不景気・恐慌へつながったのです。全産業が例外なく調子が悪く、物の価格だけでなく資産価格が極端に下がっている今の状態は、100年に1度の不況と表現されるにふさわしい経済の実態と言えます。

日本の自動車産業が突如赤字になった原因に、自動車産業の構造があります。具体的に「国内で生産する車」「国内で販売する車」「海外へ輸出される車」「海外で生産する車」について生産量の変化を見てみます。海外生産がなんとか波に乗ってきた1985年から5年後の1990年は、国内生産が1360万台でそのうち780万台が国内で販売されました。輸出された車は583万台、海外で生産された車は326万台でした。それらを合計すると日本が生産した車は全世界で1680万台でしたが、2007年には国内生産が1180万台、国内販売が532万台に減り、その分輸出が655万台、海外生産が1186万台にそれぞれ増えました。全体のちょうど半分の量を海外で生産するという状況になっており、2008年には国内生産が更に減りました。つまり、外に売るしかないという状況がどんどん強くなっているということです。その結果、海外の購買力が一気になり急激にマーケットが縮みました。

このままでずっと行くと車関係の会社は皆つぶれてしまいます。そんな中、インドで21万円で発売される「ナノ」のような低価格乗用車が1つの突破口となると思います。またエコカーとよばれる新しいタイプの車も注目されており、ここ1~2年くらいは最盛期の70~80%の売り上げで推移するだろうと見られています。電気自動車にシフトした場合、カーメーカーの技術の核心部であったエンジンが必要なくなるので、電機メーカーや電池メーカーが主導権を握るのではないかでしょうか。また、無限に使える最もクリーンなエネルギーである水素を利用する方法もあります。これらの方法を取捨選択しながら、これから自動車業界は進んでいくだろうと思います。

今週卓話

4月2日(木)

会員卓話:西本 哲さん

テー マ:美容情報あれこれ

次週行事

4月5日(日)

春の家族会

場 所:京都 南禅寺

※4月9日(木)は振替により休会

次々週卓話

4月16日(木)

卓話講師:特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド

ウガンダ支部担当 吉田千代子さん

テー マ:学校が出来てから3年

~トゥンバリ・ルウェンウェデ地区は今~